



佐藤照彦議員

産業振興

4漁協合併後の支援策

産業振興基金の有効活用を

【質問】 産業振興を問う。

① 山田湾内4漁協の合併が実現した場合、町はどう支援するか。

② 昨年の秋サケの漁獲量は2万5千トに達しなかった。その原因と回帰率向上のための取り組みを、どう強化するか。

③ 耕作放棄地の復元と農業振興のためにも、ソバ、麦、豆など雑穀の刈り取り機購入に対して、補助すべきでは。

沼崎町長

① 合併が決まれば、町の産業振興基金から信漁連に

預託した資金を有効に活用してほしいと考える。

② 回帰率の向上を図るために、各ふ化場の技術の標準化、適期放流の指導、海中飼育放流の推進などに取り組んでいる。町としても、県の補助事業に対し、上乘せ補助を行い支援したい。

③ ソバ、麦、豆などの収穫機械として汎用コンバインがある。基盤整備した農地が少なく、小規模で生産性の悪い本町では機械導入されておらず、補助は考えていない。

山田病院

地域医療を守る対策

開業医応援体制の構築

【質問】

山田病院と地域医療を守るため「病院と開業医の連携」「地域住民の理解と協力」「行政の新たな対応」をつくり上げていかなければならないと思うが、町としてどう考えているか。

沼崎町長

「病院と開業医の連携」については、県全

議員7人が一般質問



町の次世代を担う子どもたちが安心して医療を受けられる地域医療の確立が望まれます(かわいい笑顔の園児たち：さくら幼稚園)

を深めていきたい。

「地域住民の理解と協力」については、山田病院を守るにも新たな医師を招へいするにも関係機関のみならず、地域住民の協力が不可欠なことを地域懇談会などで理解を求めていきたい。

「行政の新たな対応」については、宮古医師会を通しての開業医との連携、住民の理解と協力を求める地域懇談会の開催、山田病院をサポートする「守る会(仮称)」を支援していきたい。

体で勤務医の絶対数が減少しているという現実の中で山田病院を守っていくためには、開業医の皆さんの応援が必要不可欠だと思っている。山田病院と一緒にしながら、宮古医師会を通して開業医の皆さんと応援体制の構築につながる連携